

内藤・日吉地域 防災まちづくりニュース

発行 内藤・日吉地域連合防災会 令和4年度冬号 No.24

令和4年10月15日(土)
10時から11時まで、恒例の
秋の防災訓練をすぎのこ公園

防災訓練を実施しました



で実施しました。国分寺消防署西元出張所の指導の下、初期消火・AED・緊急通報および発電機の起動訓練を総勢58名で実施しました。今回は、通常実施している上記訓練の他に防災倉庫の見学や使い捨てトイレ用プライベートテントの組み立て、子供向けにボランティアによる紙芝居も実施しました



AED訓練



プライベートテント



紙芝居

～「まち歩き」を実施しました～

令和4年度のまち歩きは、例年と同様3地区に分けて実施しました。

第1弾として、11月18日(金)午後1時30分から3時30分、中部エリアの「まち歩き」を行いました。第五小学校をスタートとゴール地点とし、五小学区の西側を約1時間かけて歩きました。

第2弾は、11月26日(土)同じ時間帯で内藤エリアを歩きました。内藤二丁目自治会の集会室をスタートとゴール地点とし、内藤さつき公園まで往復しました。公園では、新しく設置され防災備蓄倉庫内部を見学しました。

第3弾は、翌日の27日(日)恋ヶ窪公民館をスタートとゴール地点とし、室内プール前井戸、うれしのの里、すぎのこ公園を経由して歩きました。室内プール前井戸では、毎月実施している水質検査のデータについて説明がありました。うれしのの里の隣地でも大規模な宅地開発が始まっていました。

各コース共まちかど消火器の点検・清掃やAEDや公衆電話の所在地の確認などを実施し、地域の安全性を見直し、災害が起きた場合の避難について考えておく、良い機会になりました。



内藤さつき公園 防災備蓄倉庫



プール前井戸



うれしのの里 西隣りの宅地開発

～ 第五小学校防災プログラム～



令和4年度の第五小学校防災プログラムは、5年生と6年生で実施しました。

5年生は、「防災（減災）」についての基本的な学習の後、家庭での取り組みや街の中での取り組みや施設に関する事前学習をもとに発表形式で進めました。身の安全の確保や、一時避難先、家族との連絡方法、発災後の停電や断水への備え、備蓄（ローリングストック）など、自分たちの備え（自助）の大切さを中心に学び、防災に関する理解を高めてもらうことができました。

2つ目は、6年生を対象に「防災カルタ」「紙食器作り」「毛布で担架」「ロープワーク」の4つのプログラムを楽しみながら、防災知識や災害時に活用できる技術を習得してもらいました。

5年生・6年生は、災害時には貴重な戦力になる可能性をもっています。さらに防災に興味をもち、日々の生活の中で知識を生かしてほしいと願っています。

五小のブログにも紹介されています。

国分寺五小ブログ (kokubunji5sho.blogspot.com)



5年生：スライド



6年生：防災カルタ



6年生：ロープワーク

内藤自治会の目指すところ

内藤自治会会長 栗原進一

令和4年4月より内藤自治会会長を拝命いたしました栗原です。内藤自治会は、内藤、日吉町、戸倉、富士本、西恋ヶ窪の一部を地域とする、会員数が1000世帯を超える歴史のある大きな自治会でしたが、高齢化が進むにつれ現在は900世帯を下回るに至っております。

また、ここ3年間は新型コロナウイルスの影響で自治会の主な活動であります総会、盆踊り、夏祭り、秋のバス旅行が中止となり会員の方々との交流の機会が減ってしまいました。

そのような中でも常に会員の方々には防災、防犯をはじめ様々な情報提供を月2回の回覧でお伝えをしております。特に防災に関しましては、災害時に備え「内藤・日吉地域連合防災会」と緊密な連携を図り防災訓練をはじめ情報提供を行っております。

益々高齢化が進む中、国分寺市や、その他の団体との間を取り持ち、会員の方々の安全と安心をお届けできる自治会を目指して活動を続けていきたいと思っております。



井戸端会議（30分程度）

- ・なかよし公園・内藤橋公園
毎月第1火曜日 10時から
- ・ボブラ公園
毎月最終日曜日 10時から



防災まちづくりニュース および 防災会への
お問い合わせ・入会申し込みは



内藤・日吉地域連合防災会 会長 龍神瑞穂 (090-2533-3435)